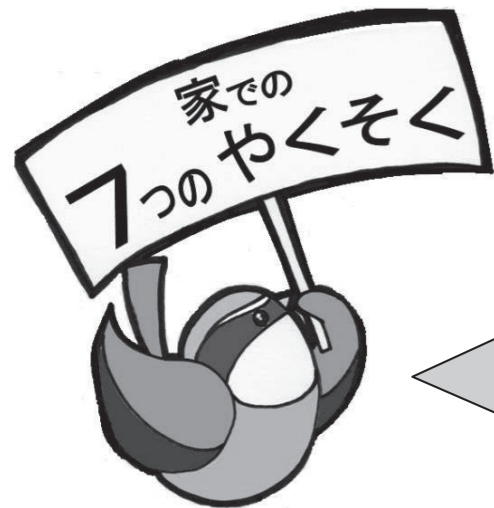
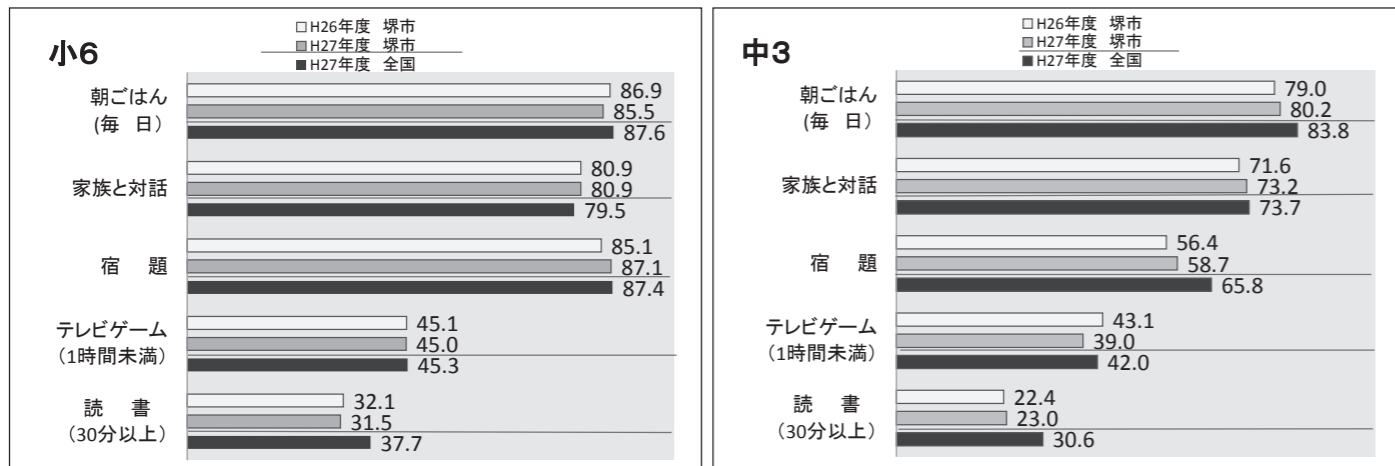


# 一日のよりよい過ごし方を考えよう



- 1 早寝早起きの習慣をつけよう。
- 2 朝ごはんを毎日食べよう。
- 3 家族との対話を大切にしよう。
- 4 学校に持って行くものを前日に確かめよう。
- 5 宿題など自分から進んで勉強しよう。
- 6 携帯電話やスマートフォン、テレビやゲームの時間を決めよう。
- 7 本を読む時間をつくろう。

## 「家での7つのやくそく」に関わる調査結果について



※早寝、前日準備に関する項目は、今回の質問項目には含まれていません。

小中学校ともに、昨年度課題であった家で宿題をしている児童生徒の割合が増加しており、家庭学習のてびきや自主学習ノートの活用などの取組の成果が表れていますが、中学校は依然として全国との差があります。

小中学校ともに、ゲーム等の時間が、引き続き課題となっており、家庭との連携を強化し、生活改善につなげていく必要があります。

## 保護者のみなさんへ

- 決まった時間に寝るように声をかけましょう。
- 子どもに朝食をとる習慣が身につくようご協力ください。
- 学校のできごとなど、子どもの話をしっかり聞きましょう。
- 明日の予定などを話題にし、見通しをもって生活するよう促しましょう。
- 自分から進んで勉強できる環境をつくりましょう。
- ゲームやテレビ、スマートフォンの時間を決めましょう。
- 家族で読書を楽しむ工夫をしましょう。

ご協力  
お願いします



どうして  
「7つのやくそく」  
が必要なの？

正しい習慣を身につけ、自分の行動を自分で律する力をつけることが、学力向上につながります。

毎月7日の「7つのやくそくデー」を生活を見直すきっかけにしてください。

## 保護者・地域のみなさまへ

## 平成27年度全国学力・学習状況調査 堺市結果

# きっちり生活・しっかり勉強

平成27年度全国学力・学習状況調査（平成27年4月実施）について、堺市の子どもたちの学力等の状況をお知らせします。

確かな学力の向上には、学習習慣・生活習慣を身につけることが大切です。質問紙調査では、「自分には良いところがある」「学校は楽しい」などをはじめ、学ぶ喜びやわかる楽しさを実感している児童生徒が増える傾向にあります。今後も教員が子どもへの理解を深め、子どもどうしのつながりを大切にしたい集団づくりとわかりやすい授業づくりを行い、学力向上にむけた取組を進めます。

教育委員会では、望ましい生活習慣の形成に向けて「学びに向かう」「自分で決める」「自分を高める」を、家庭で大切にしていきたい視点として、本リーフレットにまとめました。

ご家庭においては、本リーフレットを参考に「きっちり生活 しっかり勉強」する子どもの育成にご協力をお願いします。

## 各教科の平均正答率(%)

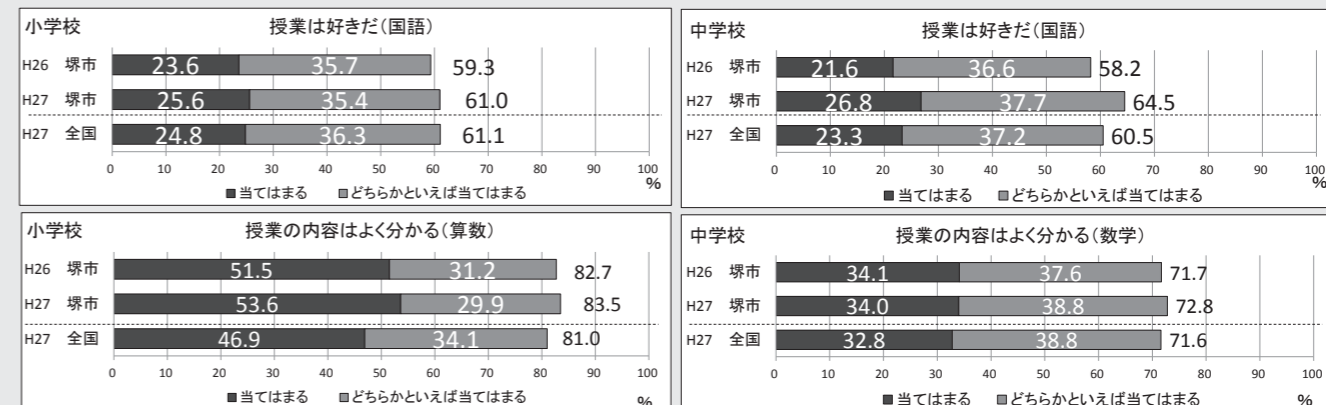
	教科 区分	小学校(6年)					中学校(3年)				
		国語		算数		理科	国語		数学		理科
		A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)		A(知識)	B(活用)			
H27	堺市	67.8	62.9	75.1	44.5	57.7	73.3	63.0	62.9	40.0	49.0
	全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
H26	堺市	70.5	54.4	77.8	55.6		75.9	46.2	64.2	55.6	
	全国	72.9	55.5	78.1	58.2		79.4	51.0	67.4	59.8	
H25	堺市	62.1	47.9	77.4	57.2		72.1	61.8	60.6	37.6	
	全国	62.7	49.4	77.2	58.4		76.4	67.4	63.7	41.5	

昨年度と比べると小学校国語Bを除くすべての教科区分で改善が見られ、小学校は算数A(知識)と算数B(活用)で全国水準となりました。中学校は国との差が大きく縮まりました。また、質問紙調査の結果から、「授業がよく分かる」と回答する児童生徒が全国平均を上回るなど、わかりやすい授業づくりに努めた成果が表れています。

一方、小中学校ともに理科については、国との差が特に大きく、下位層の割合も高い状況です。一部の教科や学年にとどまらず、学校全体で基礎基本の定着を図る反復学習や思考力・判断力・表現力の育成に向けた授業改善に今後一層取り組みます。

保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

## 「授業は好き(国語)」「授業はよく分かる(算数・数学)」と回答した児童生徒の状況



編集・発行 堺市教育委員会事務局 学校教育部

TEL 072-228-7436 FAX 072-228-7421

URL <http://www.sakai.ed.jp/gakkokyoikubu/>

堺市行政資料番号 1-K2-15-0290

堺市教育委員会

# 学校でも家庭でも 大切にしたい 3つのチャレンジ

- 1 “学びに向かう”
- 2 “自分で決める”
- 3 “自分を高める”

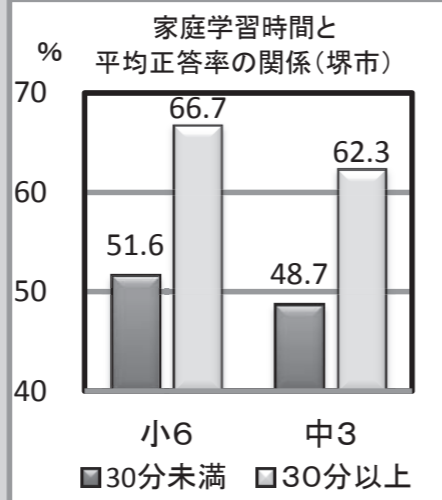
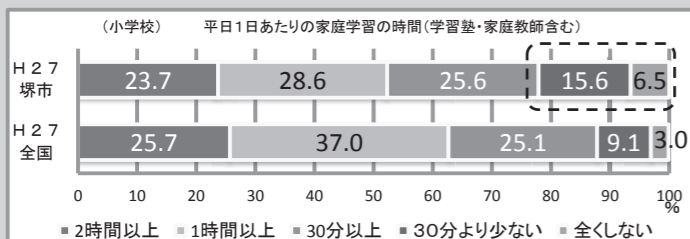
チャレンジ 1

## “学びに向かう”

家での学びを支えましょう(場所・時間・声かけ)

- 家庭学習時間が30分未満の割合が全国より高くなっています。
- 30分以上学習する子どもの学力は高い傾向にあります。

小学校低学年段階から、学習習慣を身につけることが大切です。



### 学習習慣が大事!

習慣づくりは、学習意欲の向上につながります。家での生活の中で、学習は「学校から帰ってきてすぐに」「夕食の前に」など、確実に取り組めるリズムを確立しましょう。  
また、机やテーブルなどいつも同じ場所で、学習に集中して取り組める環境を整えましょう。

### まずは学校の宿題!

家庭学習の基本は学校の宿題です。家庭でも毎日の宿題に、進んで取り組むことができるよう、働きかけ続けることが大切です。  
また、子どもたちがテスト等の間違い直しや反復学習に日常的に取り組むことで、基礎基本が確実に定着します。

### 自分オリジナルの家庭学習!

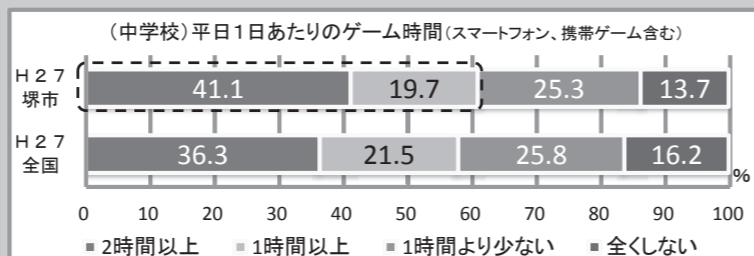
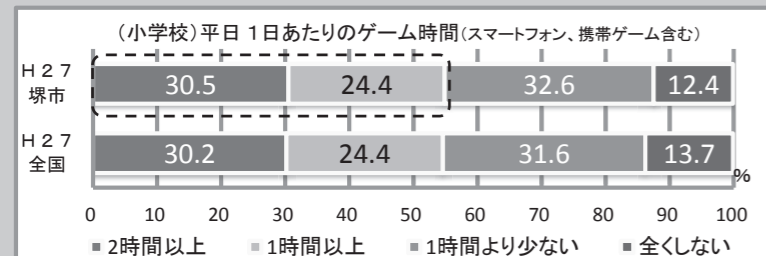
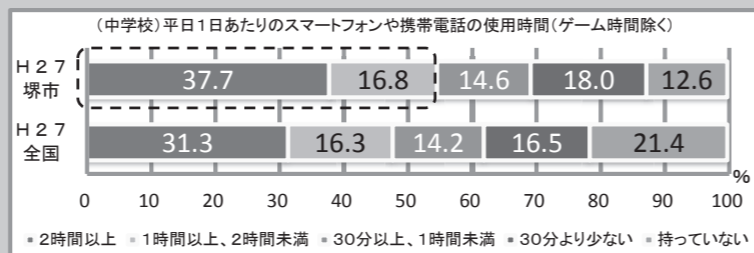
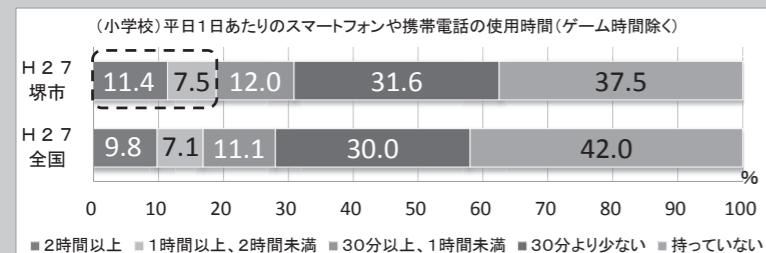
学校では、復習しやすいよう授業内容をわかりやすくまとめるノートづくりに取り組んでいます。  
家庭では、子どもたちが授業ノートをもとに学習したことを復習し、さらに調べてみたいことなどに取り組むことで、学習意欲が高まり、学力が向上します。

チャレンジ 2

## “自分で決める”

ファミリー読書など、家族で楽しむ時間をつくりましょう

スマートフォン等の使用やゲームをする時間が長くなっています。



スマートフォン等の長時間使用によって、生活リズムが崩れ、学習や読書をする時間が削られることなどが懸念され、健康面や学校生活への悪影響も心配です。携帯電話やスマートフォンの使用も含めて、家での過ごし方についてお子さんと話し合ってみてください。また、家族で本を読む日を設定するなど、一日を有意義に過ごす方法を考えましょう。

チャレンジ 3

## “自分を高める”

周りの人の励ましは自分を高めるきっかけになります



五箇荘東小学校 2年生  
まつ本 りょうたろうさん  
さんかん日

先生あのね、さんかん日があつてぼくは、はっぴょうしたよ。ぼくは「木」のつくことばを言ったよ。おかあさんとおばあちゃんがきてくれて、「りょうちゃんの手のあげかたがピンつとなつてきれいやったよ。」  
「いっぱい手をあげてて、うれしかったよ。」と、言ってくれたよ。さんかん日がおわつてから、おかあさんとおばあちゃんのところにいて、「ありがとう。」  
つて言ったよ。はずかしかったけど、がんばれたよ。

H27年度「はとぶえ」8月号掲載

原山台東小学校 2年生  
はぐら いおりさん

がんばった がんばった

うどん会の日に  
50メートルそで1ばんで  
パパに  
「がんばった がんばった」といわれて  
めっちゃ うれしかった  
つぎは わたしが パパに  
いつもがんばってるね  
つて言つてあげるよ

H27年度「はとぶえ」10月号掲載



家庭・地域の教育力に支えられ、「自分にはよいところがある」などの自尊感情が年々向上しています。上記の「はとぶえ」作品のように家庭での対話や子どもへの励ましは大きな力になります。  
各家庭で、子どもの頑張りを認め、物事を達成した時には、しっかりほめたり、いっしょに喜んだりしましょう。また、成長してほしいところ(保護者の願い)を子どもに伝え続けることが大切です。